

統合科目

歯周治療学

《担当者名》 歯学部教授 / 古市 保志 歯学部教授 / 長澤 敏行 歯学部准教授 / 門 貴司 歯学部助教 / 清水 伸太郎

【概要】

講義及び臨床実習を通じて学んだ知識のまとめを行う。

【学修目標】

歯科衛生士として歯科医師と連携した歯周治療計画の立案について説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯周治療の進め方 診査 診断 予後 治療計画	歯周病の患者の治療例をみながら歯周疾患の治療の進め方を学ぶ。	古市 保志
2	歯周治療の進め方 歯周基本治療 - プラークコントロール	歯周病の患者の治療例をみながら歯周疾患の治療の進め方を学ぶ。	清水 伸太郎
3	歯周治療の進め方 歯周基本治療 - スケーリング・ルートプレーニング	歯周病の患者の治療例をみながら歯周疾患の治療の進め方を学ぶ。	長澤 敏行
4 5	歯周治療の進め方 歯周外科	歯周病の患者の治療例をみながら歯周疾患の治療の進め方を学ぶ。	古市 保志
6	歯周治療の進め方 メンテナンス / SPT	歯周病の患者の治療例をみながら歯周疾患の治療の進め方を学ぶ。	門 貴司

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験100%

【教科書】

最新歯科衛生士教本「歯周疾患」医歯薬出版

【参考書】

「臨床歯周病学」医歯薬出版

【学修の準備】

前年度までの教科書および講義資料、配布資料を整理し内容について確認しておく。（30分）

授業ごとに実施した内容を元に復習をする。（30分）

該当する国家試験問題に取り組む。（20分）

【実務経験】

古市 保志（歯科医師）、長澤 敏行（歯科医師）、門 貴司（歯科医師）、清水 伸太郎（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

歯周疾患の審査・診断・治療法の一連の流れを通して、歯周病治療による口腔機能の回復の意義と全身の健康に寄与する科目であることを理解する。実務経験を活かすことで、歯科医師・歯科衛生士の連携を理解し、優れた教育成果を上げることが期待できる教育内容である。